

岡山大学 周産期母子医療センター における NICU/GCU拡充

岡山大学病院小児科 科長 塚原 宏一
岡山大学病院新生児部門 鷺尾 洋介
(小児急性疾患学講座)

1

周産期母子センター

- 周産期母子医療センター：周産期に関わる高度な医療を提供する医療施設。**産科**と**新生児科**が協力して、限られた医療資源を有効活用しながら、周産期医療に関わる保険医療のサービスを提供するために都道府県によって認定される施設
- **産科病床**：産科病棟 + MFICU(母体胎児集中治療室)
⇒ハイリスク母体の管理
- **新生児ユニット**：NICU(新生児集中治療室)
+ GCU(新生児回復室)
⇒重症新生児の管理

2

岡山大学周産期母子センターの現況

- 産科病棟

MFICU ハイリスク母体の管理 → 病床なし
病棟 母体の病床
正常新生児室 正常新生児の管理

- 新生児ユニット

NICU 重症新生児の管理 → 病床なし
GCU 急性期を離脱した新生児の管理
集中治療を要しない合併症をもった
新生児の管理

3

岡山大学新生児部門 (地域周産母子医療センター)

NICU 6床
新生児室 12床

入院数

- 2012年: 252例



- 2016年: 374例



- 2019年: 472例

- NICUの病床稼働率90%前後



4

岡山大学での妊娠管理、分娩を要する妊婦

- 様々な科を受診している合併症を有する妊婦
 - 合併症を有する妊婦から出生する早産児
 - 外科疾患を有すると予測される胎児
出生後に手術を必要とする新生児の管理が必要
-
- 病院の規模と比べてNICUの病床数が少なすぎる . . . 6床



→岡大でのお産が制限される状態

- 当院で妊娠管理を行なっている妊婦の他院への搬送も発生している
- 当院での治療を要する新生児→他院へ入院

5

岡山の周産期事情に関して

- NICUが満床のため産科的救急対応を必要とする母体搬送の受け入れができない日が多数存在する。
- 岡山大学でしか管理できない妊婦・新生児を制限せざるをえない状態

→院内・院外から岡山大学へ搬送できないことを問題視する声が上がっている

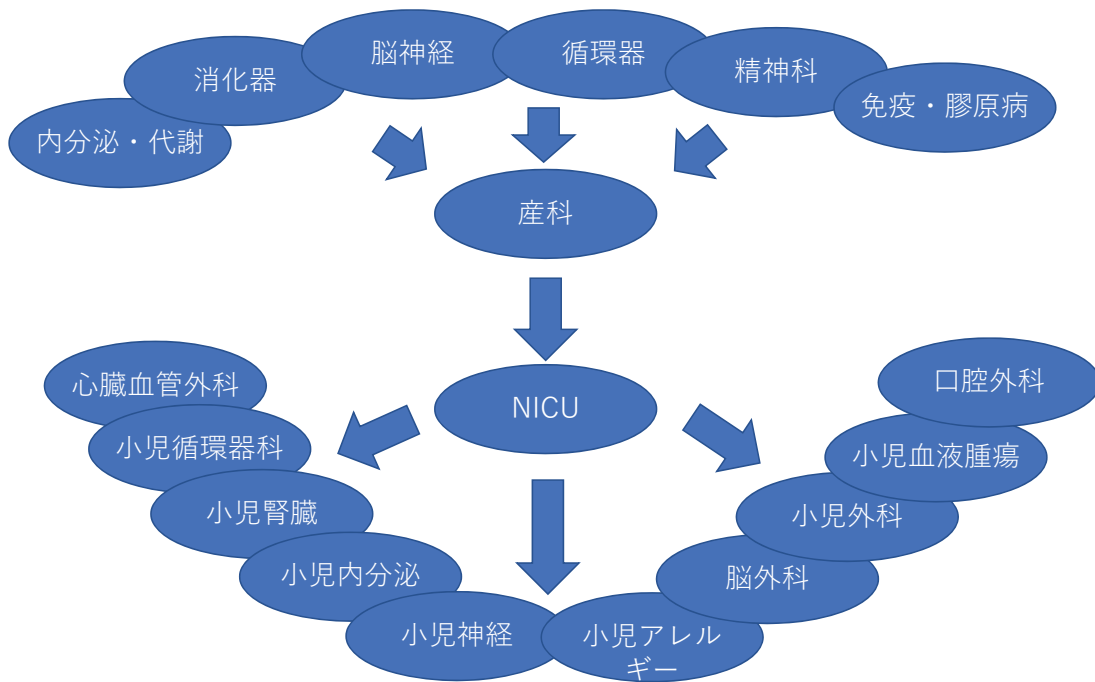
- 岡山大学での対応(GCUがない)

現在の新生児室ではある程度医療措置を必要とする見を受け入れることはできない

→NICUのベッドを臨機応変に空けることは難しい

6

周産期医療の特性



7

今回のNICU/GCUの拡充

- NICU 6床⇒12床へ
- GCU 0床⇒12床へ



8

病床の拡充に伴う効果

- 産科的救急診療を要する妊婦搬送への対応
- NICUが満床になることにより受け入れが難しくなっていた合併症を有する妊婦、新生児への対応



他院への搬送をお願いする必要性がなくなり、
岡山大学でしっかりと周産期医療を行う体制が整う

- 岡山県の周産期医療体制がさらに盤石なものとなるよう、診療体制を維持していきたいと考えております。皆様ご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。